



学校教育目標

自ら求めて学ぶ心豊かな生徒の育成

三豊市立高瀬中学校

〒767-0011

三豊市高瀬町下勝間2725番地1

TEL 0875-72-3161

FAX 0875-73-6188

文責 長谷川 忍

第72回高瀬中学校体育祭

先日の第72回高瀬中学校体育祭、本当にお疲れ様でした。すべてのプログラムが終わり、皆さんの弾けるような笑顔を見たとき、私の心は激しく震え、言葉にできないほどの深い感動で満たされました。皆さんが全力で駆け抜け、創り上げたあの最高の時間を振り返り、思いを皆さんに伝えます。

① 壁を突き破った生徒主体の挑戦

今年の生徒会テーマ「NO CHALLENGE, NO BEST～突き破れ！我らの壁！～」の通り、皆さんは自らの手で新しい高校の歴史を創り出しました。体育祭プロジェクトチームを中心に、生徒主体で挑んだ以下の新しい試みは、素晴らしい成果となって表れていました。

- ・異学年合同テントでの絆……縦割りチームの団結力を高めるための新しい配置でしたが、学年を越えて声を枯らし、お互いを全力で応援し合う姿が本当に素敵でした。
- ・圧巻の入場パフォーマンス…3年生が下級生をリードし、こだわり抜いて指導してくれたおかげで、どのチームも息の合った、個性の光る最高のダンスを見せてくれました。

② 魂が震えた「高中ソーラン2026」

そして、何よりも私の心を激しく揺さぶったのは、全校生による「高中ソーラン2026」です。1年生の「freedom」は、初めての体育祭とは思えないほどのハツラツとした躍動感に満ちていました。2年生の「関東総舞黎」は、先輩としての意地と成長を感じさせる、一糸乱れぬ力強さがありました。3年生の「ソーランbeat」は、これまでの伝統を背負い、高校のリーダーとしての誇りと熱い思いが全身から溢れ出ていました。

どの学年も、お腹の底から大きな声を張り上げ、大地を揺らすように力強く踊るその一切妥協のない一生懸命な姿に、私は胸を打たれ、観ていて本当に涙が出そうになりました。

③ 「笑顔」と「感謝」にあふれた最高の1日

私は開会式で、皆さんに「笑顔」と「感謝」をキーワードにしてほしいと話しました。

当日の会場は、競技に全力で挑む真剣なまなざしと弾けるような笑顔、そしてお互いを称え合い、支えてくれた仲間や先生、保護者の方々へ感謝する温かい空気で満ちあふれていました。まさに、私が思い描いた以上の、最高の体育祭を皆さんが体現してくれたのです。

この体育祭で皆さんが自らの壁を突き破り、手に入れた強い連帯感、責任感、あるいはやり遂げた自信は、これからの学校生活をさらに輝かせる大きな原動力になります。

高校の底力と、最高の感動を届けてくれた皆さんに、心から「ありがとう」を贈ります。

突き破れ！ 我らの壁！



72

NO CHALLENGE, NO BEST

SPORTS DAY 2026